

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2022年6月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2022年6月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306
金融法人 (B to B)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	1,761
マネパカード口座数 (単位: 口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	159,097

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432	500									
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401									
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810	350,630									
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680	57,597									
一般顧客	55,261	55,126	55,939									
金融法人 (B to B)	1,579	1,553	1,658									
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600	158,387									

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

< 6月次の概況 >

6月の外国為替相場は、ウクライナ情勢や米国の利上げ等を背景に前月より更に値動きの大きい展開となりました。

米ドル/円は1ドル=128円台後半（月中安値）で取引が始まり、米5月ISM製造業景気指数や米5月雇用統計などの米国経済指標の良好な結果を受けて米長期金利が上昇。15日のFOMCまでは1日平均1.5円程度の値幅で上昇傾向での推移となりました。FOMCでは0.75%の利上げが発表され、直後はドル買いでの反応となり135円半ばまで上昇しましたが、その後のパウエルFRB議長の今後の利上げ幅に対する慎重な発言を受けて133円台半ばまで急落しました。16日には、ヘッジファンドなど投機筋が、日銀の金融政策決定会合で金融緩和政策の修正が決定されると予想し、円買いを進めたため更に急落し一時131円台半ばを付けました。しかし、17日に緩和継続が決定されたと伝わるとドルは急伸、米長期金利の上昇も相俟って一時135円台を回復、21日には136円台後半まで上昇しました。その後は134円台前半から136円台後半の間で値動きを伴いながら上昇傾向で推移し、29日には1998年9月以来およそ24年ぶりの高値となる137円（月中高値）を付け、135円台後半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、値動きを伴いながら円に対して高値圏で推移しました。

外国為替相場の変動率は、米ドル/円の1日の平均値幅が1.542円（前月は1.197円）となるなど、ほとんどの通貨ペアの平均値幅が前月より拡大したことから、2020年3月のコロナ相場以来の高い水準となった前月を更に上回る非常に高い水準となりました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは先月に引き続き当社の人気通貨ペアである「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」にて当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）を提示する業界初となるキャンペーンを続行しております。併せて、ゴールデンマネパタイム（17時00分から26時00分まで、以下同じ。）において、「米ドル/円」をはじめ「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「ユーロ/米ドル」、「メキシコペソ/円」、「南アランド/円」、「ポンド/米ドル」の計8通貨ペアのスプレッドを業界最狭水準で提示するキャンペーンを続行しました。

「約定力100%」のパートナーズFXでも前月に引き続き、ゴールデンマネパタイムにおいて「ユーロ/円」、「ポンド/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/米ドル」、「ユーロ/米ドル」、「NZドル/円」、「南アランド/円」、「メキシコペソ/円」、「カナダドル/円」、「ポンド/豪ドル」、「ユーロ/豪ドル」、「豪ドル/米ドル」の計12通貨ペアにて、パートナーズFXnanoに次ぐ業界最狭水準のスプレッドを提示するキャンペーンを続行しました。

7月5日からは、パートナーズFXnano、パートナーズFXの両方にて、ゴールデンマネパタイム中のスプレッド縮小キャンペーンの対象通貨ペアをそれぞれ計17通貨まで拡大したキャンペーンを実施しております。「まいにち金・銀（CFD-Metals）」においてもゴールデンマネパタイムにおいて「金/米ドル」スプレッド0.2pips、「銀/米ドル」スプレッド0.2pipsの業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。

また、6月18日よりパートナーズFXにて、ロスカット率をお客様ご自身で変更できる機能を追加いたしました。これまでのパートナーズFXの個人口座におけるロスカット率は40%で固定されていましたが、本機能の実装により40%~100%の間で20%刻みの変更が可能となっております。なお、パートナーズFXには追加証拠金制度があるため、ロスカット率を80%以下に設定された場合に、営業日終了時点での証拠金維持率が100%を下回っていた際は追加証拠金が発生します。

パートナーズFXでは引き続き「米ドル/円」、「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」「南アランド/円」にてキャッシュバックキャンペーンを実施しております。こちらのキャンペーンは期間中（7月1日6時10分から7月30日5時50分まで）の取引数量に応じてキャッシュバックを得られるだけでなく、期間中の取引日数に応じて最終的なキャッシュバック額を最大25%増額しております。また当社所定の期間（6月1日6時10分から7月1日5時55分まで）に通貨ペアを問わず1度でも当社でFX取引をされたお客様がキャンペーン期間中に1日でもお取引いただくと、3%のキャッシュバック増額からスタートしていただける内容としております。「まいにち金・銀（CFD-Metals）」でも「金/米ドル」、「銀/米ドル」を対象として、パートナーズFXと同様にキャッシュバックキャンペーンを実施しており、取引日数に応じてキャッシュバックが増額となります。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比2%増加の1,414億通貨単位となりました。営業収益は、取引高の増加等によりトレーディング損益が増加したことに加え、システム関連売上高が増加し、前月比16%増加の500百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分がそれぞれ増加し、全体では前月比917百万円増加の57,597百万円となりました。